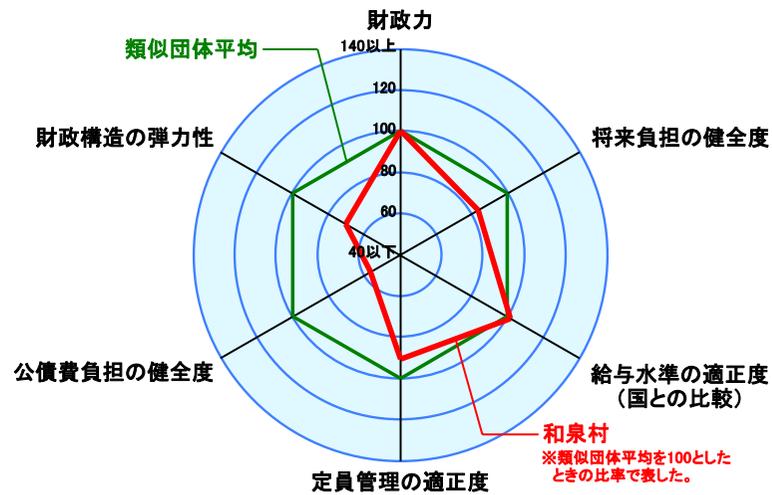
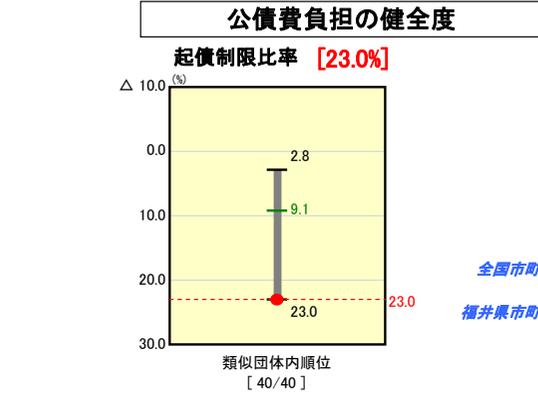
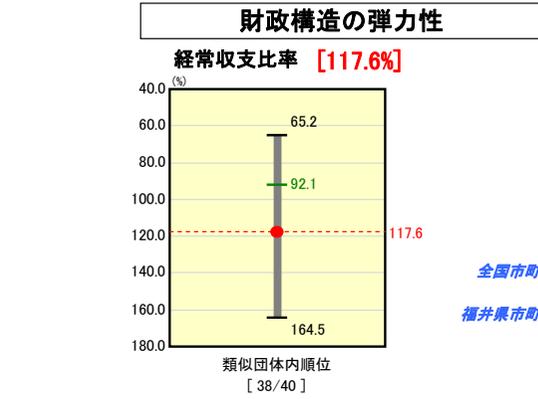
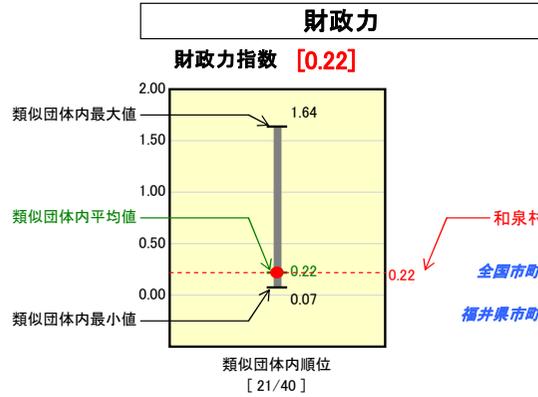


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 和泉村

人口	744 人(H17.3.31現在)
面積	332.38 km ²
歳入総額	2,401,764 千円
歳出総額	2,329,052 千円
実質収支	36,195 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

※平成17年11月7日に、市町村合併により、大野市に編入した。

- 財政力指数**
基幹産業であった鉱山の発掘中止による従業員の解雇やこれに伴う飲食店やサービス業等の廃業などにより、人口、税収が減少し、財政基盤は弱くなっている。しかし、全国の類似団体でも同じような傾向があり、指数は平均値である。
- 経常収支比率**
歳入は、長引く景気低迷による村民税個人・法人の減収、歳出は、大型事業の抑制から公債費が前年度に比較し2.3%減となったものの、職員の手当増給、昇格による人件費の増や保育所運営費などの国庫補助の減などによる一般財源負担増などから前年度に比較して10.5ポイント増となった。今後、大野市への編入合併を機に、行財政改革による効率化や経費の節減を図り、財政の健全化を推進する。
- 起債制限比率**
歳入は、起債依存型の事業実施を見直し公債費の減に努めているが、歳入について、村民税が減っているにも関わらず普通交付税や臨時財政対策債までも減っているため、類似団体内でも最も高い数値となった。合併後は、起債の抑制に努め、財政の健全化を図る。
- 人口1人当たり地方債現在高**
農林業施設や観光施設の整備により発行額が増加し、類似団体平均を大きく上回っている。小学校と中学校を統合するため学校を建設しており、起債残高は増加する見込みである。合併による合併特例債など有利な起債はあるものの、事業の重要性、優先度を考慮し、起債の抑制に努める。
- ラスパイレス指数**
中途採用者が多く、前歴加算の割合も低いため、類似団体の平均値を下回っている。
- 人口1,000人当たり職員数**
小さな村でありながら、観光にも力を入れており、また、高齢化、少子化対策など行政サービスを維持しつつ、近年の情報化社会に取り組むため、多方面に渡り人員を要した。また、村の面積が広大であり、特に森林面積が9%と広大であり、森林を維持していくためにも人員を要した。

